

株式会社ジェイコム北関東 熊谷・深谷局 2017 年度放送番組審議会 議事録

【日 時】 2017 年 3 月 13 日(火) 午前 10 時 00 分～11 時 20 分

【場 所】 ジェイコム北関東 熊谷・深谷局 会議室

<放送番組審議会委員>

ご出席

岡 部 美 雪 様 栗 原 和 江 様

権 田 宣 行 様 (嶋野 正史様 代理)

杉 本 公 明 様 長 谷 川 隆 一 様

藤 間 憲 一 様 (50音順)

ご欠席

横 山 晋 一 様

- ・事業者側から現況報告及び J:COM チャンネルの取り組みにつき報告があった。
- ・事業者からの推薦と委員の互選により、議長に藤間委員が就任した。

【審議 質疑応答】

■『まちかどワイド』について

(事業者による番組説明)

「まちかどワイド」は「生放送」をより意識してもらえるよう工夫した。「生」を強調するために、スタジオもガラス越しに外の風景が見えるようにした。また 4 月からの「デイリーニュース」に向けて試験的に生中継も行なった

「まちかどワイド」は終了するが、ここで頂いたご意見を新番組の「デイリーニュース」と「ここ推し！」に活かしていきたい。

(委員)

「デイリーニュース」になると、これまでのような行事の収録は無くなるのか？

(応答:事業者)

これまでのように、取材したものをニュースとして流すということに変わりはない。

毎日 3 本のニュースを入れる予定だが、その内 1 本は当日のネタを入れたい。

(委員)

17:00 ということで、「夕方のニュース」というイメージなのか？

起こったことを伝えるのも重要だと思うが、イベント等に足を運んでもらうための情報(告

知)を生放送でタイムリーに発信していただくと、地域活性化につながると思う。

(応答:事業者)

現在スタッフ3名と地域プロデューサーで情報収集をしている。ニュースなのでどうしても「起こったこと」が中心になるが、これからの情報についても伝えていくよう留意したい。

(委員)

地域の方が出ると親近感が湧いて良い。

スタッフのレポートがとても良かった。

生放送のバックが冬だと暗くて印象が良くない。

(応答:事業者)

確かに冬は外が暗いが、例え車のライトでも何か動いていてライブ感が伝わることを狙っている。ただ、本当の効果を出すためには背景がきちんと見えなくてはいけないので、今後検討していきたい。

(委員)

ニュースは、プラスの情報しか出てこないのか？ ライフルを持った男がうろついているとか、ゴシップ的なものは扱わないのか？

(応答:事業者)

基本的には、凄惨な事件などは扱わない。クレームへの対処を含めて「報道」を行なうだけの体制を組むことができない。

我々としてはあくまで「町ネタ」を扱い、町の活性化に役立つニュースをやっていく。

ただ、全国的な注目を集める事件があった場合には、野次馬的ではなく、市民がどうすべきか？という視点で「注意喚起」などを行なう可能性はある。

(委員)

報道はやらない、とのことだが、先日市役所前通りの郵便局前で大きな火事があった。ああいう事件は市民も大きな関心があり不安に思っているので、注意喚起的な放送はあってしかるべきだ。

(応答:事業者)

先日の火事については、番組冒頭でアナウンサーが触れて「気をつけてください」とコメントした。

火災の季節には消防の方や、死亡事故が多いときには警察の方に出していただいて注意喚起を適宜やっていただいている。

■『ウイークリーニュース深谷』について

(事業者による番組説明)

毎週ゲストの方のゆかりの場所で収録を行なっている。

ふっかちゃんの登場回数も非常に多かった。

ニュースを2～3本と市民の皆さんのPR、という構成にしている。

(委員)

若女将の会で「華の宿場祭り」の告知などで何度も出させていただいた。

番組を見て来てくださる方が多く、若女将自身も人前で喋る力がつき、顔を覚えてもらえた。

年配の視聴者が多いが、明るい話題で出演者も笑顔なので、「番組を見て元気を貰ったよ」と言ってもらえる。とても良い番組だと思う。

(応答:事業者)

4月以降番組の形態は変わるが、地元の皆さんに出ていただくというコーナーは続けていくので、今後もよろしく願いしたい。

(委員)

今後熊谷と深谷が相互乗り入れすることになると、深谷に長年住んでいる人が見るとあたりまえのことでも、熊谷の視聴者にとっては、アタマで若干の説明を入れてもらわないと分からない部分がある。

これは何年続いている伝統行事だとか、どこでやっているとか、一言説明が欲しい。

(委員)

男性のナレーションがとても聞きやすくて良い。

深谷の市民の方が出ていたが、顔が木の影になっていて残念だ。

(応答:事業者)

梅林での撮影だったが、天気が良いとありがちなので今後は気をつけたい。

■『熊谷人図鑑』について

(事業者による番組説明)

出演者が110名を超えて、熊谷の皆さんには、かなり番組が浸透してきた。

熊谷愛にあふれた人、熊谷にはこんな人がいる、というのを紹介していく番組。

J:COM 全国10以上の地域で同じ手法・フォーマットで制作放送している。

インサートの映像を入れて欲しいというご要望をよくいただくが、今のところ対応ができていない。

4月からは3本/月放送(1日、11日、21日更新)となる。

(委員)

今回審議対象となっている回は、日本一になった若い女性歌手が出ているが、インサートビデオが無いので歌がうまいのかどうか分からない。ご両親のお話の場面で、写真を挿入するなど、もう少し演出的な部分で視聴者が見て喜べる番組にできないのか？

(応答:事業者)

演出に関しては、我々も善処していきたいと思っている。

(委員)

彼女は、観光協会の新年会で歌ってもらったが、ものすごく上手い。

(委員)

是非聴きたい。最後にライブの告知があったので、逆に行きたくなった。

あと、MCの聞き出し方が上手く、お母さん目線で良かった。

(応答:事業者)

MCに関しては、皆さん「話しやすい」と好評を頂いている。

他のメディアセンターでは著名な芸能人を出したりもしているが、私どもは地元在住のアナウンサーを起用して、同じ熊谷市民同士で仲良く「先輩後輩」的な会話を狙っている。

(委員)

限られた時間の中で、同じような応答が繰り返しあったのが残念。中学生としての横顔をもっと引き出して欲しかった。

事前打ち合わせの時間を利用して、もう少し質問を練ったほうが良い。

(応答:事業者)

今後もっと精進していただくよう、きちんと本人に伝える。

(委員)

この番組は、ノーカットで収録しなければダメなのか？

出る側としてもずっと喋っているのは苦しいし、面白いかどうか不安。

多少編集を入れた方が、作る側、出る側、見る側、皆にとって良いのでは。

(応答:事業者)

ノーカット収録という手法も本部からのフォーマットの指示に従っている。

もともとは札幌で個人が趣味で(回しっぱなしで)制作し、ネットに上げていた番組。

受けていた要素である「手作り感」をJ:COMが取り入れたものだが、その経緯を知らない視聴者には、逆に不親切になっているので、そろそろ考え直す時期に来ていると思う。

(委員)

タイトルが作りこまれてかっこいい。

今はユーチューバーがいっぱいいて、動画作りも上手。これに対抗していくときに、目の肥えた視聴者に「回しっぱなし」はつらい。

(応答:事業者)

もう2年この形でやっているのだから、そろそろ転換する時期かもしれない。

(委員)

今後「深谷人図鑑」の制作、放送は有るのか？

(応答:事業者)

埼玉メディアセンターでは、来年度「さいたま人図鑑」をスタートする予定。
順次やっているの、「深谷でも希望が出ている」という声を上層部に伝える。
スタートの折には出演者のキャスティング等、ご協力いただきたい。

■全体を通して、その他

(委員)

他のCATVでは、コミュニティFMをセットで運営しているところもあるが、J:COMではその計画は無いのか？

(応答:事業者)

現状に置いては、全国のJ:COMでその計画を持っているところは無い。
ただ、これまで色々なケーブル局を経験した中でFMの話が出ていることは承知しているが、なかなか実現にはいたっていない。

(委員)

熊谷市では4月からスポーツ・観光を軸とした政策に大きく舵を切るそうである。
2019年のラグビーワールドカップをにらんで、目白押しのイベントを紹介したり、スポーツコンベンションとしての役割を期待する。

例えば「選抜ラグビーカップ」「女子高生のなでしこラグビーカップ」などの大会も全国規模のネットを活かして放送して欲しい。

(委員)

「まちかどワイド」のスタジオセットにラグビーボールがあって、ラグビーのPRを意識していただいているのかな？というのを感じたが、ワールドカップに向けて、大きいポスターを貼るなど、さらに気運醸成を行なって欲しい。

(応答:事業者)

われわれとしても、「熊谷ラグビー情報コーナー」を今月から新設して関連情報を流している。これは、デイリーニュースにも引き継ぐ。

最低月一回は市の推進室の方に出演していただき、直接お話をさせていただく。

もちろん大きいイベントは「告知」「取材」をして、ニュースでおさまりきらないものは「特集」さらには「特番」と対応していく。

その第一弾として、特別番組「Let's Try! ラグビー!!」を制作した。これは、実際の子供たちの大会を見せながら、分かりやすい解説をいれ、一般市民に広くラグビーのルールや楽しさをしてもらおうとするもの。改修中のラグビー場にも始めてカメラが入った。

(委員)

深谷の特番はこれまで「市民音楽祭」のみか？

こういった番組枠は何時間尺か？

(応答:事業者)

深谷市での特番は今のところ「市民音楽祭」だけで、基本2時間枠である。

(委員)

深谷市では、「ネギ・ロック」という大きな音楽フェスも開催している。

また、お祭りも是非特番にして欲しい。

(応答:事業者)

随時情報をいただければ、検討する。

生放送はハードルが高いが、まずは特番として放送していきたい。

(委員)

熊谷のお祭りも、1年間で10回くらい撮影しているね？

(応答:事業者)

お祭りも1日2日だけのものではないので。何度も取材をしている。

(委員)

来年は統一地方選挙だが、どこまでやるのか？市長選だけ？

(応答:事業者)

基本的に、開票速報をやるのは市長選まで。

市議選は数が多いので間違いが怖い。技術が確立できれば検討していく。

5. 閉会(事務局)

予定の議事は終了した。これにて2017年度の番組審議会を閉会する。

以上